

第1回流山市通学区域審議会(令和3年8月24日～9月17日)意見及び回答一覧

| (仮称)南流山第二小学校 |        |   |   |   |   |
|--------------|--------|---|---|---|---|
| NO           | 氏名     | 通学区域について  | 回答  | その他   | 回答  |
| 1            | 長岡 みつ江 | 流山市教育委員会としてのE案でよいと思います。   | 教育委員会も同様に考えております。貴重な御意見ありがとうございました。   | 通学路の安全が一番気になるところです。(交通量、不審者等)   | 【通学路の安全について】<br>通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。            |
| 2            | 長谷部 年春 | E案に賛成する。学級数が他案に比較して大きな差がないため。   | 教育委員会も同様に考えております。貴重な御意見ありがとうございました。   |   |   |
| 3            | 小林 常男  | 児童数、学級数のバランスがよく、南流山第二小学校は増改築が可能等でのE案を推奨します。   | 教育委員会も同様に考えております。貴重な御意見ありがとうございました。   | 通学路は歩道と車道を分離して最悪でも車道との境界には柵の設置をお願いしたい。  | 【通学路の安全について】<br>通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。            |
| 4            | 遠藤 由樹  | 新住民のほとんどを残し、以前からの住民を動かすというのは、エネルギーのいることかと思いません。A-1案のウェリスを今の南流山小に残すのはどうか。  | 【ウェリスについて】<br>委員おっしゃるとおり、以前からの住民の心情はお察しいたします。一部のマンションだけを別の学区として対応することで、人数的な課題は解決できると想定できますが、地域を学区を分断することや、今後市内の別の場所で、マンションが建設されたときに、同じように学区を設定することは難しいと考えるため、一部のマンションだけを別学区にすることは、現在のところ考えておりません。 | E案でいくなら、現在の正門は通用門として、南門を正門として立派にすると思います。                                      | 貴重な御意見ありがとうございました。  |
| 5            | 大館 昭彦  | E案が適当である。<br>・市野谷小学校とは違い、南流山第一、第二小学校は、隣接して建設される。よって、どちらに通学することになっても、通学に対して大きな差は生じない。<br>・スタート時点からのバランスがいいことと、併せて今後増加するであろう南流山地区の児童増を考えたとき、第二小は教室を増やすことが可能であり、木地区の一部を学区として抱えておく方がよいと考える。<br>・学級数が二校とも同じように増加していく。50近いような学級数は、可能な限り、ない方がよいのではないか。 | 教育委員会も同様に考えております。貴重な御意見ありがとうございました。   | ・境界もはっきりしており、わかりやすい。<br>・木地区の未整備地部分は、今後、かなりの増加が見込まれるであろう。そのことへの対応は考えておく必要がある。 | 教育委員会も同様に考えております。委員おっしゃるとおり、未整備地については転入者があるものとして算出しております。貴重な御意見ありがとうございました。 |
| 6            | 國井 紀子  | E案がいいと思った。人数が増えた場合、受け入れてくれる、または増やせる(教室)ことがよいと思う。  | 教育委員会も同様に考えております。貴重な御意見ありがとうございました。   | 交通量の多い地域なので、通学路の安全性を見直したりもした方がよいのかもしれないと思いました。                                | 【通学路の安全について】<br>通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。            |

第1回流山市通学区域審議会(令和3年8月24日～9月17日)意見及び回答一覧

| (仮称)南流山第二小学校 |         |   |   |  |  |
|--------------|---------|---|---|--|--|
| NO           | 氏名      | 通学区域について  | 回答  | その他  | 回答   |
| 7            | 佐々木 真木子 | E案で賛成です。地区名で分かりやすく分けられているA-1案もよいと思いましたが、南流山第二小が大きくなりすぎ、バランスが悪いです。そして、木地区はまだ人口の増加が考えられるので、E案のように混在していれば増加に対応ができると思いました。  | 教育委員会も同様に考えております。貴重な御意見ありがとうございました。   |  |  |
| 8            | 林 修司    | E案の通学区域に賛同します。  | 教育委員会も同様に考えております。貴重な御意見ありがとうございました。   |  |  |
| 9            | 小泉 勲    | ・E案でもよいと思いますが、街区木114～120が飛地になっており、気になります。<br>・A-1案ですが、字で分かれており、すっきりしていてよいと思います。地域としては字が境になっている方がよいのではないのでしょうか。(南流山方面は地域の実情がよくわかりませんが)   | 【木地区114～120街区について】<br>E案の114～120街区は木となっておりますが、通学路の安全から道路で区切っております。今後、許可区域の設定などについては、通学区域審議会で議論していきます。   |  |  |
| 10           | 石井 孝浩   | E案でいいと思います。   | 教育委員会も同様に考えております。貴重な御意見ありがとうございました。   | 質問:現在の南流山小と南流山中校舎一体で、南流山小としては、児童数2300人規模の学校では、やはり学校経営・実務的にも難しいのでしょうか。  | 【学校の規模について】<br>流山市では、概ね48学級を超えてしまうと、学校運営上支障が出てくると考えています。そのため、学校自体は分ける必要があります。                                  |
| 11           | 龍田 進    | ・B案が通学区、学校の境界がはっきりしていてよい。<br>・学校への通学路が大きな道路がない。<br>・南流山小学校の学級数が増えることが心配ですが、安全第一である。   | 委員おっしゃるとおり、南流山小学校と(仮称)南流山第二小学校を縦に分けることで学区境とすると、通学路の安全も比較的良いと考えております。しかしながら、木地区は区画整理地区ということで、今後も児童数が増えていくことを想定しております。そのため、教育委員会が進めている概ね48学級以内を大きく上回ることとなります。 | ・南流山第二小学校の名ですが、第二ではなく、町名で「木小学校」等考えたらと思う。<br>・家族で今まで通学していた場合、兄弟・姉妹で学校が変更する状況が出る場合、ご父兄によく説明する機会が必要である。   | 【学校名について】<br>来年度を目途に、校名アンケートを実施する予定ですので、その結果を受けてから決定します。<br>【兄弟姉妹案件について】<br>可能な限り、兄弟で別々の学校とならないようにしたいと考えております。 |
| 12           | 宮原 京子   | 私はE案が良いと思います。理由は令和6年度、令和9年度の児童数、学級数のバランスが良いということです。今後木地区には未整備地が残っており、児童の増加が予想されるが、南流山第二小学校は改築等で教室を増やすことが可能であることから、対応できるのが良いと思います。新設校の学区域が、南側に木地区の一部が含まれるが、その面積も少ないわけではなく、大きい道路で分かれており、わかりやすいと思います。これらのことからE案が良いと思います。 | 教育委員会も同様に考えております。貴重な御意見ありがとうございました。   | 流山に新設校が短期間に、小学校3校、中学校2校ができるおたかの森駅周辺の現状がある一方で、南流山駅周辺は同じように児童・生徒数の急激な増加があるが、地盤等の事情で新校舎は建たないが、小学校が二校隣り合わせになるというのは珍しいと思います。この特性を生かした独自の教育ができるのではと考えます。姉妹校としての交流等々、また南流山は市の中で最も都心に近く交通網の発達素晴らしい拠点であることに誇りを持って新しい学校づくりにご努力していただきたいと思います。 | 委員おっしゃるとおり、地域地域の特性を生かせるような取り組みを研究していきたいと考えます。貴重な御意見ありがとうございました。  |

第1回流山市通学区域審議会(令和3年8月24日～9月17日)意見及び回答一覧

| (仮称)南流山第二小学校 |        |  |  |   |   |
|--------------|--------|--|--|---|---|
| NO           | 氏名     | 通学区域について   | 回答   | その他   | 回答  |
| 13           | 高西 由紀  | 南流山小と第二小が隣接することは、とてもおもしろいことだと思っております。流山の活性化すばらしいですね。通学区域E案で可能と思いました。両校の発展を願うとともに、行事など車の保護者の立ち入りなど、協力し合いながら学んでいく必要があると感じました。  | 委員おっしゃるとおり、地域地域の特性を生かせるような取り組みを研究していきたいと考えます。貴重な御意見ありがとうございました。  |   |   |
| 14           | 安江 裕子  | (仮称)市野谷小学校の意見で申し上げたように、児童数と学級数のバランスが最重要点と考えているので、教育委員会が推されているE案がよいと思う。それ以外は48～52学級にもなるところがあり、これは多すぎると思う。学区が南流山地区と木地区114～120街区が離れているデメリットは、市野谷小のときの「許可区域」を設定することで解決できないか。 | 【木地区114～120街区について】<br>E案の114～120街区は木となっておりますが、通学路の安全から道路で区切っております。今後、許可区域の設定などについては、通学区域審議会でも議論していきます。 |   |   |
| 15           | 小野寺 克文 | 流山市教育委員会が提案するE案に賛同します。<br>理由<br>・隣接する南流山小学校とのバランスのとれた、両校の学校運営が最大条件であり、E案での配慮が条件として満たしていると思料いたします。  | 教育委員会も同様に考えております。貴重な御意見ありがとうございました。  | 木地区の一部(木114～120)について飛地となる区域があり、通学路、防犯面での配慮が必要であること。 | 【通学路の安全について】<br>通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて対策をしていきます。<br><br>【木地区114～120街区について】<br>E案の114～120街区は木となっておりますが、通学路の安全から道路で区切っております。今後、許可区域の設定などについては、通学区域審議会でも議論していきます。 |